

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2024 年 6 月 19 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所

〒 060-8552
北海道札幌市中央区北1条西6丁目2
損害保険ジャパン 株式会社
(代表者名) 札幌支店長 佐々木 剛

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 環境保全行動
第23条第3項 の規定により、自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日					
事業 の 規 模	従業員数	989	人	原油換算した	601.6	kl	
	使用床面積	22439.7	m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	3	事業所	自動車使用台数	139	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂ 1380 t-CO ₂	メタン t-CO ₂	N ₂ O t-CO ₂	HFC t-CO ₂		
		非エネルギー起源CO ₂ t-CO ₂	PFC t-CO ₂	SF ₆ t-CO ₂	NF ₃ t-CO ₂		
報告書の担当部署		担当部署名					
		担当者氏名					
		電話/FAX					
		電子メールアドレス					
計画書提出根拠		条例第13条（環境保全行動計画）			☒ 第1項 ☐ 第3項		
		条例第23条（自動車使用管理計画）			☒ 第1項 ☐ 第2項		
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり					
備 考							

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

【報告期間】

2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標 削減 率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減 率	結果	実績数値	削減 率	結果	実績数値	削減 率	結果
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	147	5	141	4	△	139	5	○			
	台	%	台	%		台	%				
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	1400	3	1470	▲ 5	×	1380	1	△			
	t-CO2	%	t-CO2	%		t-CO2	%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	低稼働社有車の適正化を毎年実施、その結果対前年2台減車、累計で8台減車できたもの。現時点で目標の5%削減を達成しているが、更に適正化を進めていく。
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	△	2022年度はコロナが明け、出社率の上昇などの影響により数値が上昇してしまったが、2023年度はビル内照明のLED化を進めたことで、減少に貢献できた。